

(令和 4 年通常総会第 1 号議案)

令和 4 年度事業報告書

令和 4 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人江戸城天守を再建する会

1. 主な事業の成果

従来からの賛同署名を国会へ請願するための請願署名に切替え、5 月から活動を開始しました。前半はコロナの影響から活動停滞を余儀なくされましたが、経済がウィズコロナに移行した 7 月には三浦正幸先生に「江戸城天守・令和の築城とは」講演をお願いし再建に向けての具体的な検討を行いました。12 月には本講演を出版し今後の活動に活用してまいります。イベントも 8 月の KITTE でのイベントを皮切りに日常の活動を再開しました。また当会活動を説明するツールの三つ折りチラシを制作しました。

2. 事業の実施に関する事項

上半期はリアルイベントを開催できなかったものの理事会、支部委員会および講演は Zoom を活用したオンラインで実施し活動を継続しました。Zoom を活用した会議、講演はすっかり定着しました。

(1) 会員組織の拡大拡充

① 会員拡大

新入会員 200 名を目標に活動しましたが目標未達に終わり会員数も年初を下回りました。休退会者減少に努力しましたが、会員の高齢化もあり困難でした。

会員数推移表

(人数)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
期末在籍会員数	1,243	1,316	1,296	1,233	1,184
年間入会者数	106	280	120	188	105
年間休退会者数	344	207	140	251	154

② 支部のブロック編成

オンラインによる支部委員会を月 1 回開催。本部と支部長とのコミュニケーションを図りました。支部設立目標 120 は達成できませんでした。

③ かわら版、ホームページ、SNS 等の充実

○かわら版

年 4 回発行しました。千代田区観光協会で配布いただくなど地元との連携を深めました。

○SNS

多くの会員にご協力いただきフェイスブック、ツイッターを定期的に発信しリアル活動の停滞を補いました。ユーチューブはオンライン講演や世論喚起活動など14本を公式チャンネルにアップし会員外への広報に活用しました。



江戸城散策ユーチューブチャンネル



ツイッター

④ 江戸城散策ツアー

11月6日に千代田区ラジオ体操会連盟と協力し実施しました。地元千代田の参加者に当会チラシ、請願署名用紙を配布しました。

⑤ イベント

○オンライン講演

・全国お城物語：2期目に入った当シリーズを11回実施して、コロナ禍中でも実施できる活動として定着しました。取り上げたお城の所在は、1月から順に大洲城、小牧山城、岡山城、浜松城、駿府城、高知城、金沢城、高岡城、津和野城、宇和島城、肥前名護屋城でした。建物や石垣・堀さらに城下の街並みを全体として整備・保存することに注力しているお城を選びました。回を重ねていくと、日本のお城は例外なく火災や地震など自然災害に頻繁に見舞われてきたことが改めてわかりました。

・江戸城サロン：6回開催しました。1月に八木氏（八木書店会長）、7月に堀氏（共立女子大学教授）と千代田区でご活躍中の講師を招きました。役員や支部長などから会員講師を3名起用しました。

○千代田区でのイベントに参画し請願署名など世論喚起活動を実施しました。

- ・春秋岩本町東神田ファミリーバザール
- ・まるのうち歴史絵巻（KITTE）
- ・江戸城寄席・神田古本まつり・神田カレグラランプリ・近未来フェス

○お城 EXP02022

延べ25名のボランティアに運営協力をいただき、請願署名を衆議院706筆、参議院658筆、合計1364筆、御城印765枚販売し販売額398,500円の成果をあげました。

(2) 世論喚起活動

① 請願署名

賛同署名では提出先の曖昧さや、行動を促す力としては不足していると捉え、日本橋の高速道路地下化の例などを参考に衆参両院議長を宛先に定め「請願署名」として活動を開始しました。イベントなどを中心に衆議院3789筆、参議院3673筆、合計7462筆の署名を集めました。今後とも会員の皆様にはご協力をお願いいたします。

② 名城ツアー

コロナ下活動休眠中です。小グループによるお城散策を行い、山中城、甲府城、浜松城、駿府城のレポートを公式ユーチューブチャンネルに公開しました。

③ 御城印

神田古本まつりとお城 EXPO で新たなバージョンを制作しました。イベントを中心に 1200 枚販売しました。

④ 大手門前でのチラシ配布

コロナにより外国人観光客がなく、また人通りも減少したため休止しています。

(3) ボランティアへの感謝

当会の活動は総会運営、オンライン講演、お城 EXPO などイベントの運営、かわら版の送付などあらゆる場面でボランティアの皆様により支えられています。改めて感謝申し上げます。

(4) 寄付者への感謝

コロナ禍により厳しい環境にも関わらず 192 名と数多くの皆様から浄財をいただきました。心から感謝申し上げます。

3. 事業構想検討委員会

2013 年、当会は日本都市計画学会からの答申を踏まえ、江戸城天守再建の事業構想を初めて明らかにしました。2016 年、広島大学三浦正幸名誉教授による「江戸城寛永度天守復元調査研究報告書」を出版するとともに、事業構想を一步進めて、天守再建の主体となる公益財団の設立を目指すことを決定しました。

さらに 2018 年には、中期事業計画を策定し、公益財団と建設事業会社を設立し、2021 年度に天守再建の着工を目指すこととしました。2019 年、新天皇ご即位の礼と大嘗祭などの式典が執り行われる中で、計画の実現に向けた準備作業を水面下で進めました。しかし、2020 年に入るや、コロナ禍の拡大により、国民経済社会を取り巻く環境が急変し、中期事業計画の目論見は潰え去ることとなりました。

コロナ禍の収束は未だ見通せませんが、本年度から、事業構想検討委員会が発足しました。これまで数次にわたり公表してきました事業構想につき、なお積み残された課題を検討し、やがては到来するコロナ収束の将来に備えようとするものです。

7 月 23 日第 1 回の検討委員会を開催しました。江戸城天守再建といっても、寛永度天守と寸分違わぬ再建はそもそもあり得ません。では江戸城天守令和の築城で、どんなお城ができるのか、その具体的なイメージを会員の間で共有することがテーマでした。

講師の三浦名誉教授から、徳川三代の天守についての講師の新たな見解、寛永度天守の詳細と令和の築城に当たっての様々な検討のポイントの解説があり、会員との間で活発な質疑応答が行われました。

今後検討すべき積み残された課題としては、①木材資材調達、②事業採算性の確保と財源調達方法などハードを巡る問題のほか、③再建なった江戸城天守から、どんなメッセージを発信すべきか。「天守再建を契機に、日本の文化と伝統に対する新たな気付きを促し、若い世代が、日本人であること、日本に生まれたことに誇りと自信をもつとともに、この地を訪れる世界の人々に、先進文明を吸収しながら日本列島の中で育ててきた独自性豊かな伝統と文化に対する一層の理解を深めてもらう」ための、ソフト面からの対応の問題があります。

2.事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業費の総費用 7,972 千円

事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者 範囲・人数	事業費 (千円)
(1)江戸城天守再建の規模・様式・実施方法等の調査・検討並びに建設を行う事業	・天守再建の具体的な課題を検討するため三浦先生による講演会を開催した。	7月23日	中央区	5	会員およびお城に興味ある市民 600人	653
(2)再建江戸城天守の有効活用をはかるため、歴史・文化・観光等についての調査・研究並びに維持・管理・運営を行う事業	・オンラインにより江戸城の歴史、天守再建に向けての活動を考える講演会を開催した。	6月 12月	都内 及び 講師宅	10	会員およびお城に興味ある市民 600人	455
(3)江戸城天守再建の意義・必要性及びその実現方法並びに維持・管理・運営等について広報宣伝する事業	・かわら版を4回発行した。	通年	都内	10	会員およびお城に興味ある市民 2,000人	5,281
	・オンライン講演、名城巡り、請願署名活動を題材とし24本公式YouTubeチャンネルにアップした。	通年	全国各地	30	お城に興味ある市民 20,000人	
	・ツイッター（フォロワー350）フェイスブックを発信し活動を会員外へ広報した。	通年	都内 および 投稿者宅	6	会員およびお城に興味ある市民 2,000人	
(4)江戸城天守再建の世論喚起のためのシンポジウム等のイベントを実施する事業	・オンライン講演会を17回開催した。	通年	都内 及び 講師宅	20	会員およびお城に興味ある市民 600人	1,058
	・千代田区ラジオ体操協会と協力し東御苑散策ツアーを行った。	11月	千代田区	5	会員およびお城に興味ある市民 2000人	

	・お城 EXPO2022 に参画した。	12月 17・18日	横浜	20	EXPO 参加者 15,000人	
	江戸城寄席を開催した。	10月	千代田区	10	会員およびお城に興味ある市民 2000人	
	千代田区での各種イベントに参画した。(KITTE、神田古本まつり、カレーGP、ファミリーバザール、近未来フェス)	5月～12月	千代田区	40	会員および一般市民 2000人	
(5)歴史・文化・観光等の街づくりに関わる各種団体・機関と連携をする事業	・後援名義の取得やイベントの紹介、かわら版の店頭設置など千代田区、千代田区観光協会との連携を深耕した。	通年	都内	2	一般市民 150人	526
	・みなと、お茶の水ロータリークラブとイベント等で協力した。	9月以降	都内	5	ロータリークラブ会員 100人	

(2)その他の事業

該当なし